

令和2年度当初予算 予算要求シート

事業区分： 重点 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号： 1-7 局・課名： 建設局・土木監理課

事業名	舗装補修マネジメント事業	事業費(千円)	平成30年度決算額	令和元年度予算額	令和2年度要求額	
			611,942	836,800	1,162,000	
事業概要 【目的】 既設道路の舗装について、今後急速に老朽化が進むことが予想され、維持管理費の増大が懸念される。そこで、これまでの緊急性の高い箇所から速やかに補修を行っていく方法に加え、計画的な舗装補修を行うことで、舗装の長寿命化や、補修費用の縮減、平準化等を図るとともに、安全・安心の確保を行う。 【内容】 計画対象路線(国府市道)における道路舗装面のひび割れ等の定期的な調査(路面性状調査)の結果に基づく、堺市舗装維持管理計画により、舗装補修工事を行う。 ○舗装補修工事の実施 対象路線は、府道堺狭山線など緊急交通路を含めた9路線である。工事は、低騒音(排水性)舗装等で整備を行い、沿道環境の改善、雨天走行時の安全性向上を図る。また、事業費には防災・安全交付金及び交付税措置がある公共事業等適正管理推進事業債等を活用する。 ○調査業務等 5年に一度の路面性状調査を実施し、舗装補修マネジメントの見直しを行う。補修する舗装の層厚を決定するためのFWD調査及び詳細設計を実施する。 ○効果 打替などの大規模な補修を行う前に、予防保全型の事業推進を行うことで、30年間で106億円の維持管理費削減を見込む。 【今年度要求のポイント】 路面性状調査の結果及び堺市舗装維持管理計画を踏まえ、劣化が進行している箇所の舗装補修に要する予算を要求する。5年に一度の路面性状調査を実施し、舗装補修マネジメントの見直しを行う。	債務負担行為 期間 R ~ R	要求額(千円)				
	主な要求内容		(単位:千円)			
	項目	元年度予算	2年度要求額	内容・積算等		
	工事請負費等	780,000	1,035,000	堺狭山線、和田福泉線ほか		
	委託料等	56,800	127,000	路面性状調査、FWD調査、測量・設計ほか		
	合計	836,800	1,162,000			
	スケジュール(経過及び今後展開)					
【経過(～元年度)】 計画に基づく舗装補修の実施。(H22.23:路面性状調査、計画策定 H27:路面性状調査、H29:堺市舗装維持管理計画策定)		【2年度】 計画に基づき、舗装補修工事を実施。5年毎に必要な路面性状調査を実施。FWD調査、道路詳細設計を実施。		【今後予定(3年度～)】 計画に基づく舗装補修工事の実施。		
その他 特記事項						
関連事業:舗装補修、泉北NT道路舗装更新						